

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第310号

令和7年4月11日
瀬戸市立幡山中学校



猿投山の頂から見たもの

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

今年は、いつもより少し遅めの入学式・始業式となりました。正門のチューリップや満開の桜が、この日まで笑顔で待っていてくれるか、少し心配していました。9日(水)、春らしい穏やかな日差しの中で、新1年生180名の入学式が行われました。その後、2,3年生と共に1学期始業式を迎えました。式辞では、次のような話をしました。

校歌の最初に出てくる山、覚えていますか?そう、「猿投山」です。瀬戸市と豊田市にまたがり、地域に親しまれている山で、小学校の校歌にも登場します。皆さんは登ったことがありますか?私は、これまで一度も猿投山に登ったことがありませんでした。

そこで3月の終わり、思いきって挑戦してみました。準備もせず、普段着のまま出発。すれ違う登山者は皆しっかり装備していて、「大丈夫かな」と不安になりながら登りました。山道に入ると、川の音や鳥の声に癒される一方で、長い階段や坂道に息が上がります。寒い日だったのに、汗びっしょり。やっとの思いで一時間半後、頂上に到着しました。その達成感と景色の美しさに心を打たれ、頂上のベンチでふと思いました。「登山って、学校生活に似ているな」と。

皆さんの“頂上”は「卒業」です。そこを目指して、今登り始めたところです。速く進む人、ゆっくり歩く人、転んで立ち止まる人もいますが、登り方は人それぞれ。でも、目指す場所は同じです。中学校生活も同じ。うまくいかない日、迷う日、止まりたくなる時もあるでしょう。そんなとき支えてくれるのが、家族や友達、先生です。大切なのは、自分のペースであきらめずに進み続けること。遠回りしても、途中で立ち止まっても、また登り始めればいい。そんな強い心を持ち続けてほしい——そう願いながら、猿投山の頂上で皆さんを思い浮かべていました。

一人ひとりが輝き続けられる学校を目指します。今年度も、本校の教育活動について、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年度入学式・始業式

4月9日(水)



今年は3月下旬に荒天が続きましたが、中学校の桜は入学式に合わせるかのように満開となりました。180名の新1年生の入学を、桜の木々もお祝いしてくれたのではないのでしょうか。

新2・3年生は新たな年度がスタートしました。昨年度の学びや経験をもとに、今年度は学校を先導する立場となります。新たな仲間・先生と共に、新たな幡山中学校の歴史と伝統を築き上げていってほしいと願っています。